第41回日本自然災害学会学術講演会

2022年9月19日

自然災害への備えと自己評価－各群の特性分析結果－

〇水野　一成　　（株式会社ＮＴＴドコモ　モバイル社会研究所）
近藤　勢津子　（株式会社ＮＴＴドコモ　モバイル社会研究所）
吉良　文夫　　（株式会社ＮＴＴドコモ　モバイル社会研究所）

1-1 本稿の目的及び調査概要

目的

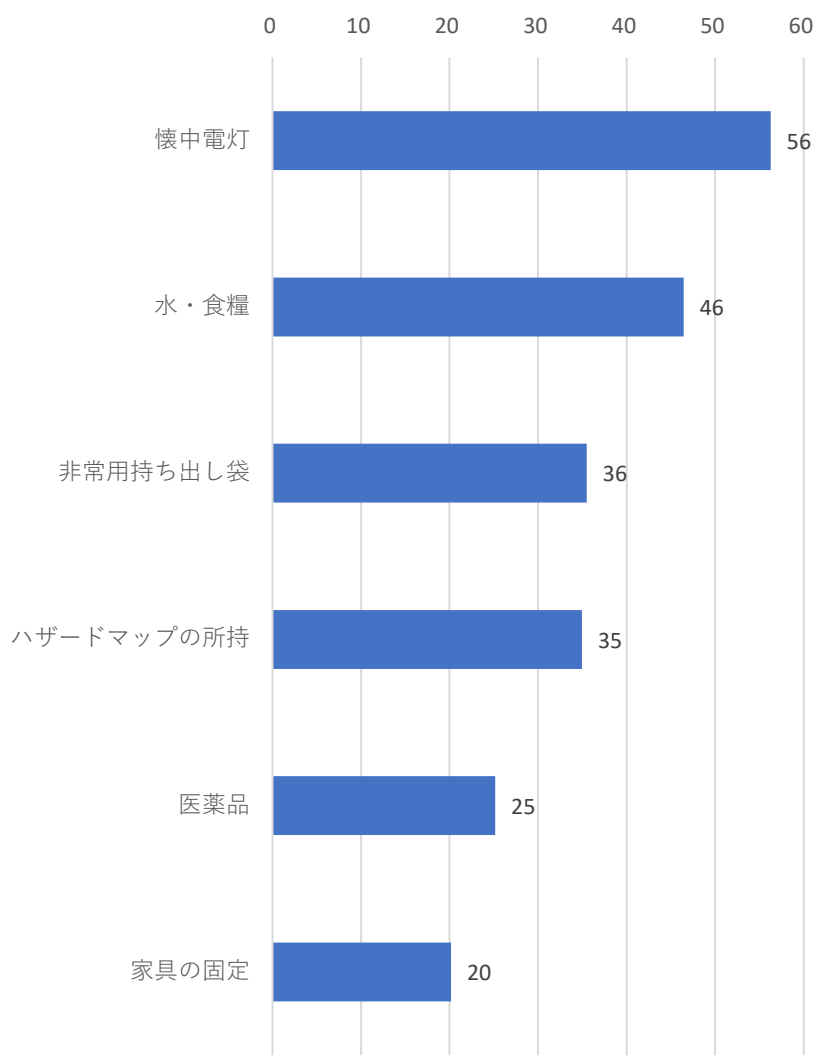
災害への備えとその意識を合わせて分析し、その特性を明らかにすること

調査概要

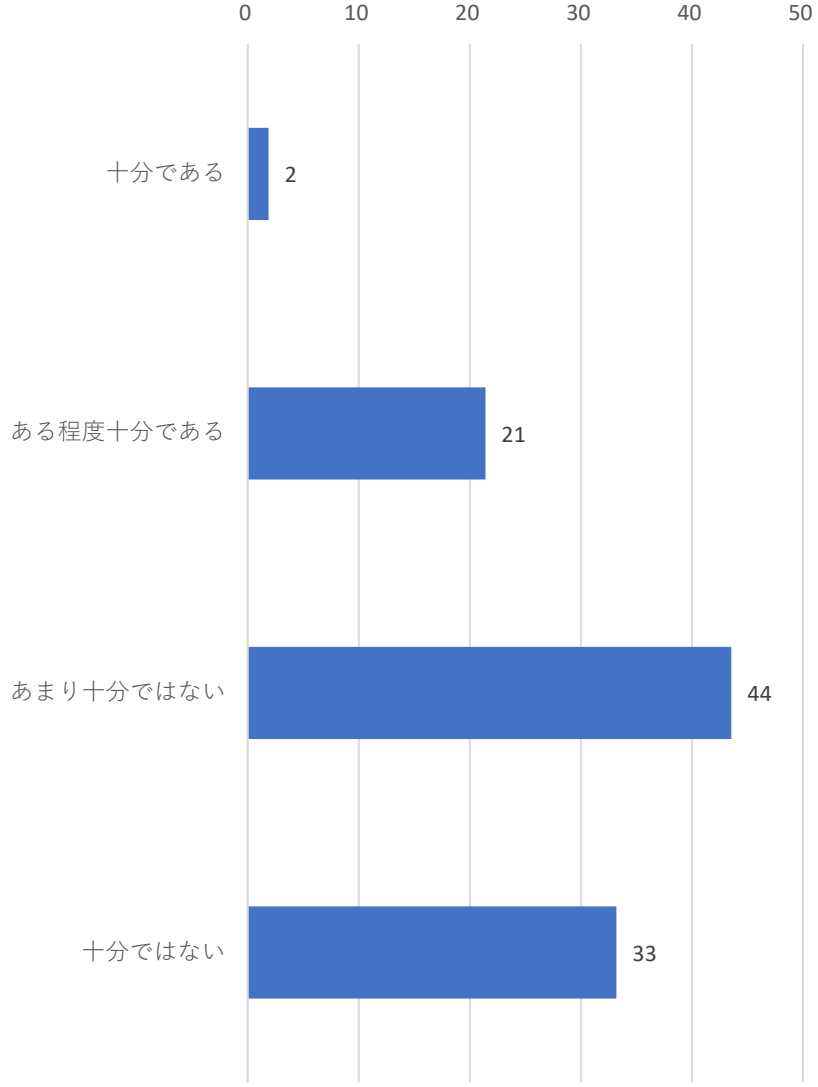
調査時期	2021.11
調査方法	Web
調査対象	全国・15-79歳
標本抽出方法	QUOTA SAMPLING 性別・年齢・都道府県で割付
サンプル数	9，072

1-1.災害への備え及び意識

■実際の備え



■備えに対する認識



1-2. 災害への備え　クラスタ分析

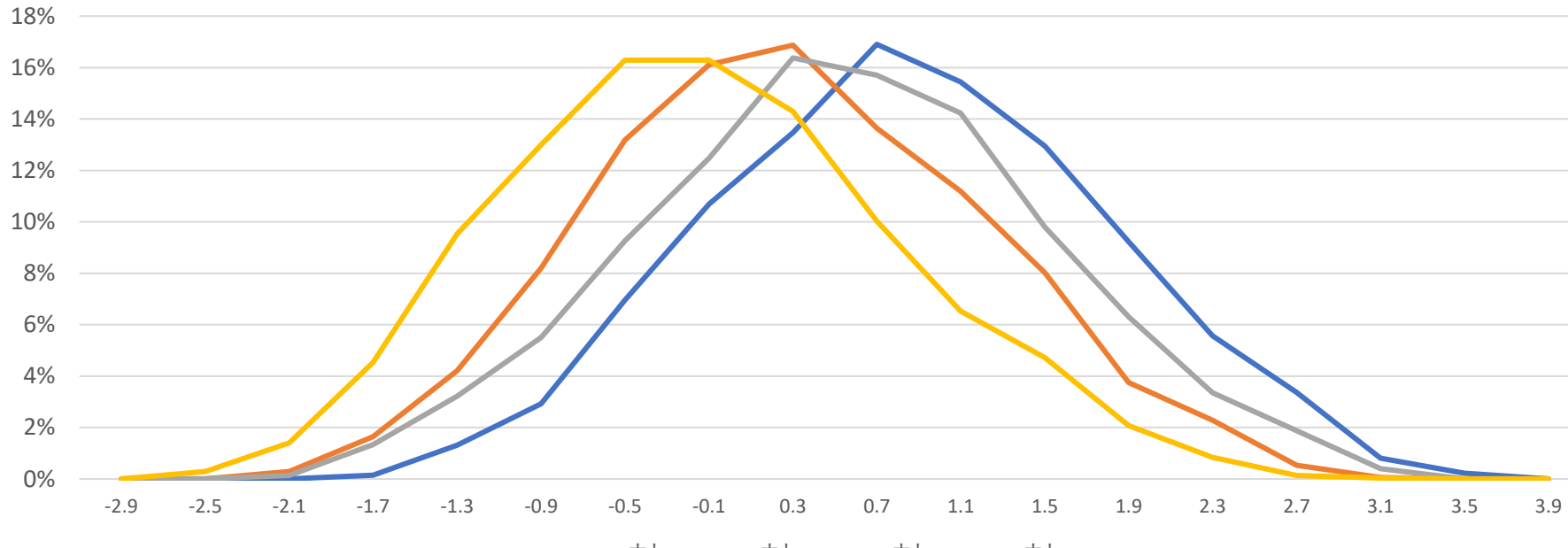
	クラスタ			
	積極派	消極派	個々に準備	まとめて
非常用持ち出し袋	0.77	0.14	0.00	1.00
医薬品	0.85	0.06	0.19	0.19
数日分の水・食糧	0.91	0.13	0.49	0.74
家具の固定	0.64	0.04	0.18	0.16
スマホ・ケータイ用モバイルバッテリー	0.87	0.13	0.42	0.30
懐中電灯	0.90	0.00	0.98	0.83
ハザードマップの所持	0.58	0.22	0.34	0.44
構成比	17	39	27	17

1-3.備えクラスタ×認識（目的変数）

		クラスタ　備え			
		積極派	まとめて	個々に準備	消極派
災害への備えは十分とお考えですか	十分である	1群：積極対策、十分 68	29	3群：消極対策、十分 15	58
	ある程度十分である	779	490	333	339
	あまり十分ではない	2群：積極対策、不十分 586	823	4群：消極対策、不十分 1306	1235
	十分ではない	107	191	833	1880

1－4. 判別グラフ

1軸判別グラフ



判別的中率	49.7%

1軸

相関比$\eta^2 = 0.14$

平均と標準偏差（群別）

	平均	分散	標準偏差
群1：積極対策、認識十分	0.705	0.873	0.935
群2：積極対策、認識不十分	0.136	0.831	0.912
群3：消極対策、認識十分	0.390	0.915	0.957
群4：消極対策、認識不十分	-0.283	0.863	0.929
全体	0.000	1.000	1.000

相関比	0.137
p値	0.000
判定	[**]

2軸

相関比$\eta^2 = 0.07$

平均と標準偏差（群別）

	平均	分散	標準偏差
群1：積極対策、認識十分	-0.024	1.039	1.019
群2：積極対策、認識不十分	0.396	0.845	0.919
群3：消極対策、認識十分	-0.501	1.147	1.071
群4：消極対策、認識不十分	-0.052	0.930	0.964
全体	0.000	1.000	1.000

相関比	0.052
p値	0.000
判定	[**]

1－5.偏相関係数

レンジ・目的変数とアイテムの相関係数

1軸　　1群（積極、十分）４群（消極、不十分）

アイテム名	レンジ		偏相関係数	
経済的ゆとり	1.493	1位	0.169	1位
気象リテラシー	1.149	2位	0.165	2位
近所付き合い	1.039	3位	0.131	3位
エリア	0.957	4位	0.122	4位
居住地の安全	0.697	5位	0.065	5位
年代	0.539	6位	0.063	6位
被災経験	0.325	8位	0.063	7位
ICT利活用	0.346	7位	0.048	8位
心配性	0.285	9位	0.027	9位
テレビ頻度	0.175	10位	0.026	10位
性	0.031	11位	0.006	11位

2軸　　2群（積極、不十分）3群（積極、十分）

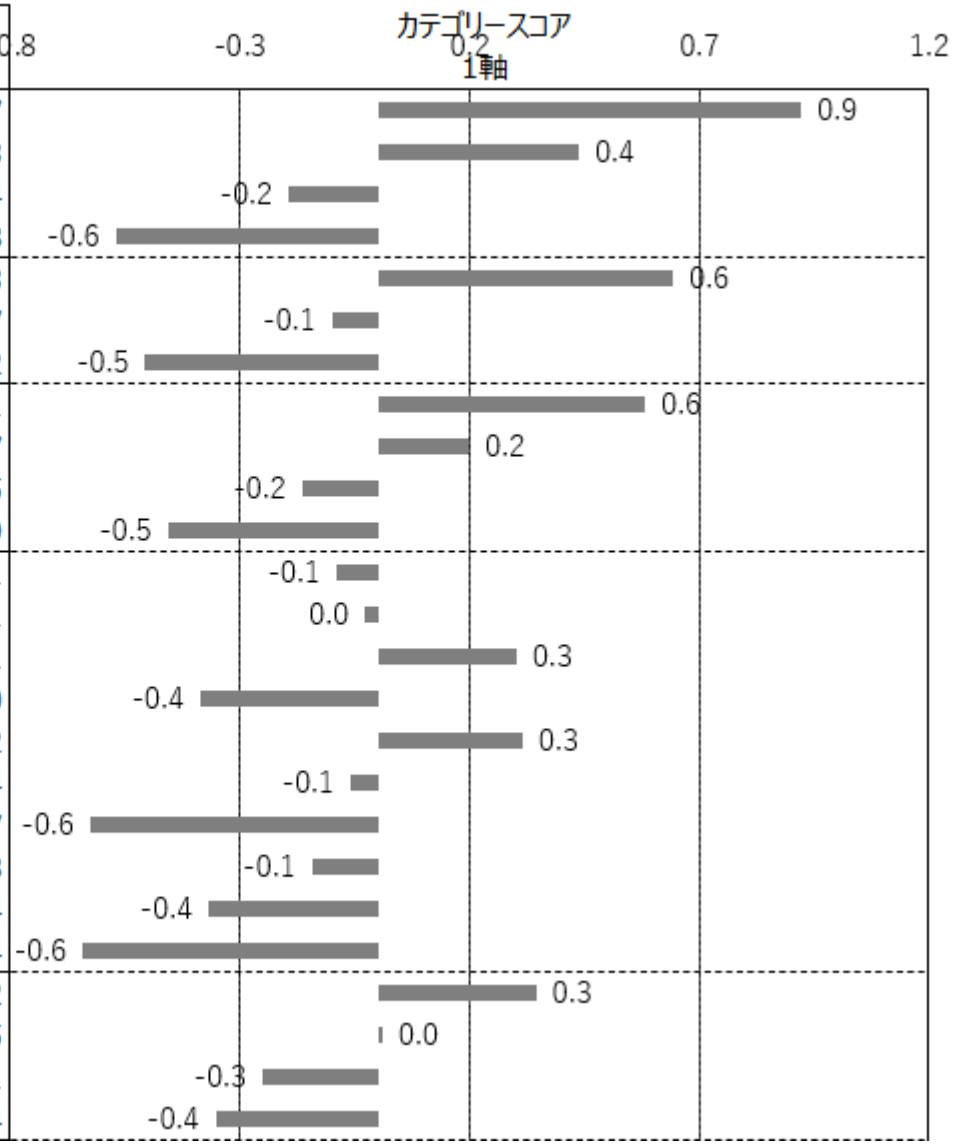
アイテム名	レンジ		偏相関係数	
経済的ゆとり	1.231	2位	0.065	6位
気象リテラシー	0.761	6位	0.065	5位
近所付き合い	0.343	10位	0.030	10位
エリア	1.052	3位	0.076	3位
居住地の安全	1.345	1位	0.087	2位
年代	0.984	5位	0.075	4位
被災経験	0.070	11位	0.008	11位
ICT利活用	0.405	9位	0.036	9位
心配性	0.457	8位	0.036	8位
テレビ頻度	0.553	7位	0.046	7位
性	0.993	4位	0.114	1位

1－6.1軸　カテゴリースコア

４群（消極、不十分）>>==<<1群（積極、十分）

モデル式

アイテム名	カテゴリー名	n
経済的ゆとり	ある	457
	ある程度	3203
	あまり	3364
	ない	2048
気象リテラシ	高い	2613
	中間	3917
	低い	2542
近所付き合い	ある	1501
	ある程度	2747
	あまり	2705
	ない	2119
エリア	北海道	351
	東北	681
	関東	2951
	北陸甲信越	650
	東海	1032
	関西	1444
	中国	567
	四国	328
	九州	954
	沖縄	114
居住地の安全	安全	1132
	ある程度	6255
	やや危険	1401
	危険	284



1－6.1軸　カテゴリースコア

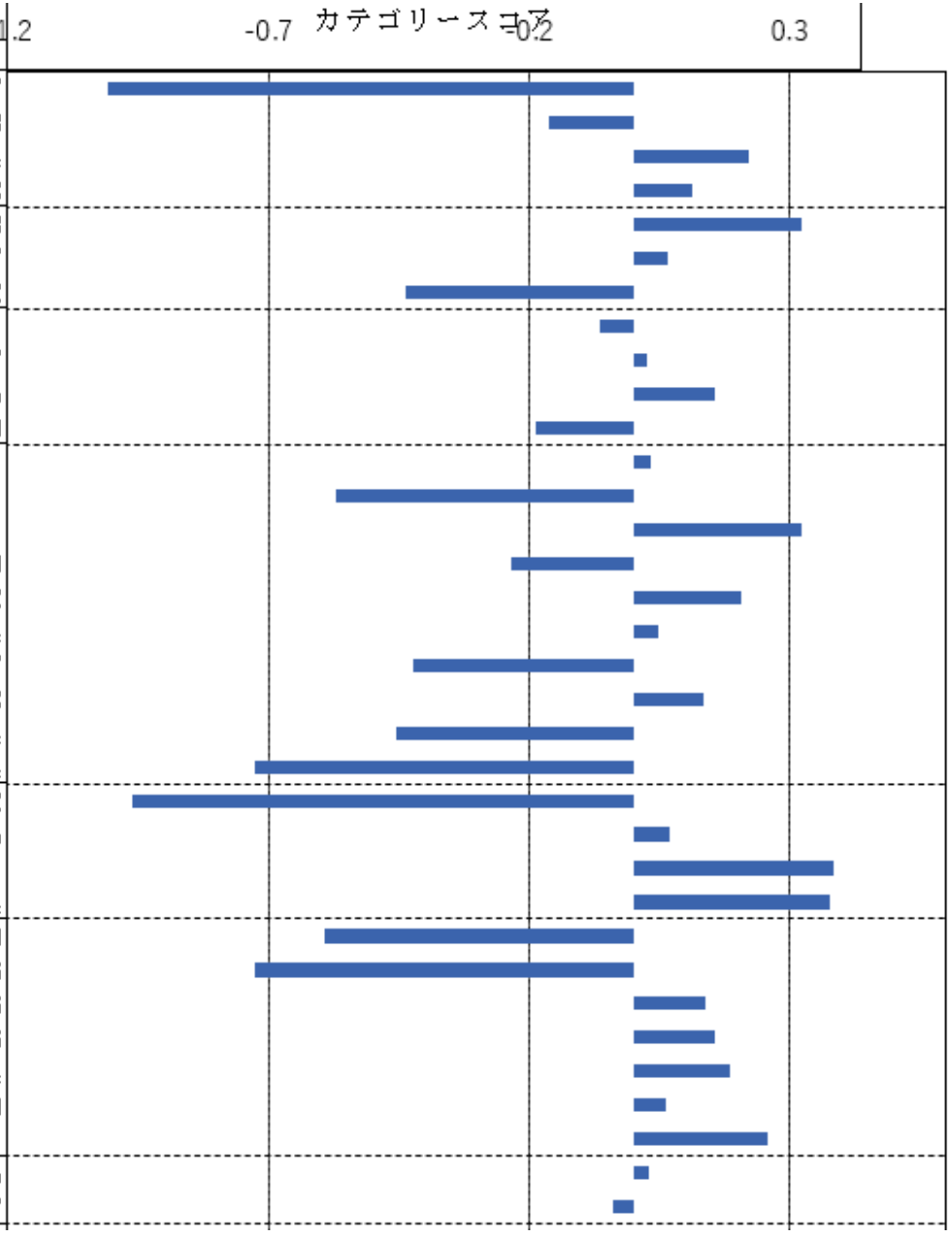
４群（消極、不十分）>>==<<1群（積極、十分）

年代	10代	539	0.1
	20代	1186	0.0
	30代	1306	-0.3
	40代	1646	-0.1
	50代	1504	-0.1
	60代	1420	0.1
	70代	1471	0.3
被災経験	ある	5095	0.1
	ない	3977	-0.2
ICT利活用	多い	1760	0.2
	やや多い	2579	0.0
	やや少ない	2908	-0.1
	少ない	1825	-0.1
心配性	心配性	2553	0.0
	ある程度	3987	0.0
	あまり	1971	0.0
	全く	561	0.3
テレビ頻度	1日1回以上	6443	0.0
	1日1回未満	1428	0.1
	見ない	1201	0.1
性	男	4515	0.0
	女	4557	0.0

参考.2軸　カテゴリースコア

3群（消極、十分）>>==<<2群（積極、不十分）

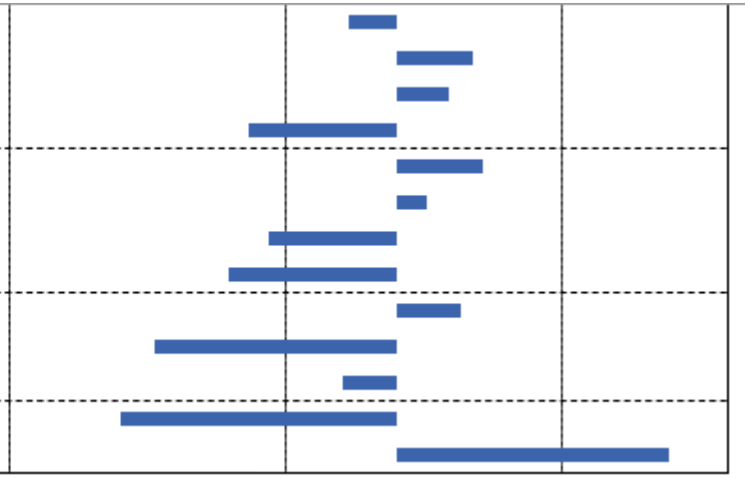
変数	尺度	n
経済的ゆとり	ある	457
	ある程度	3,203
	あまり	3,364
	ない	2,048
気象リテラシー	高い	2,613
	中間	3,917
	低い	2,542
近所付き合い	ある	1,501
	ある程度	2,747
	あまり	2,705
	ない	2,119
③ エリア	北海道	351
	東北	681
	関東	2951
	北陸甲信越	650
	東海	1032
	関西	1444
	中国	567
	四国	328
	九州	954
	沖縄	114
② 居住地の安全	安全	1132
	ある程度	6255
	やや危険	1401
	危険	284
年代	10代	539
	20代	1186
	30代	1306
	40代	1646
	50代	1504
	60代	1420
	70代	1471
被災経験	ある	5095
	ない	3977



参考.2軸　カテゴリースコア

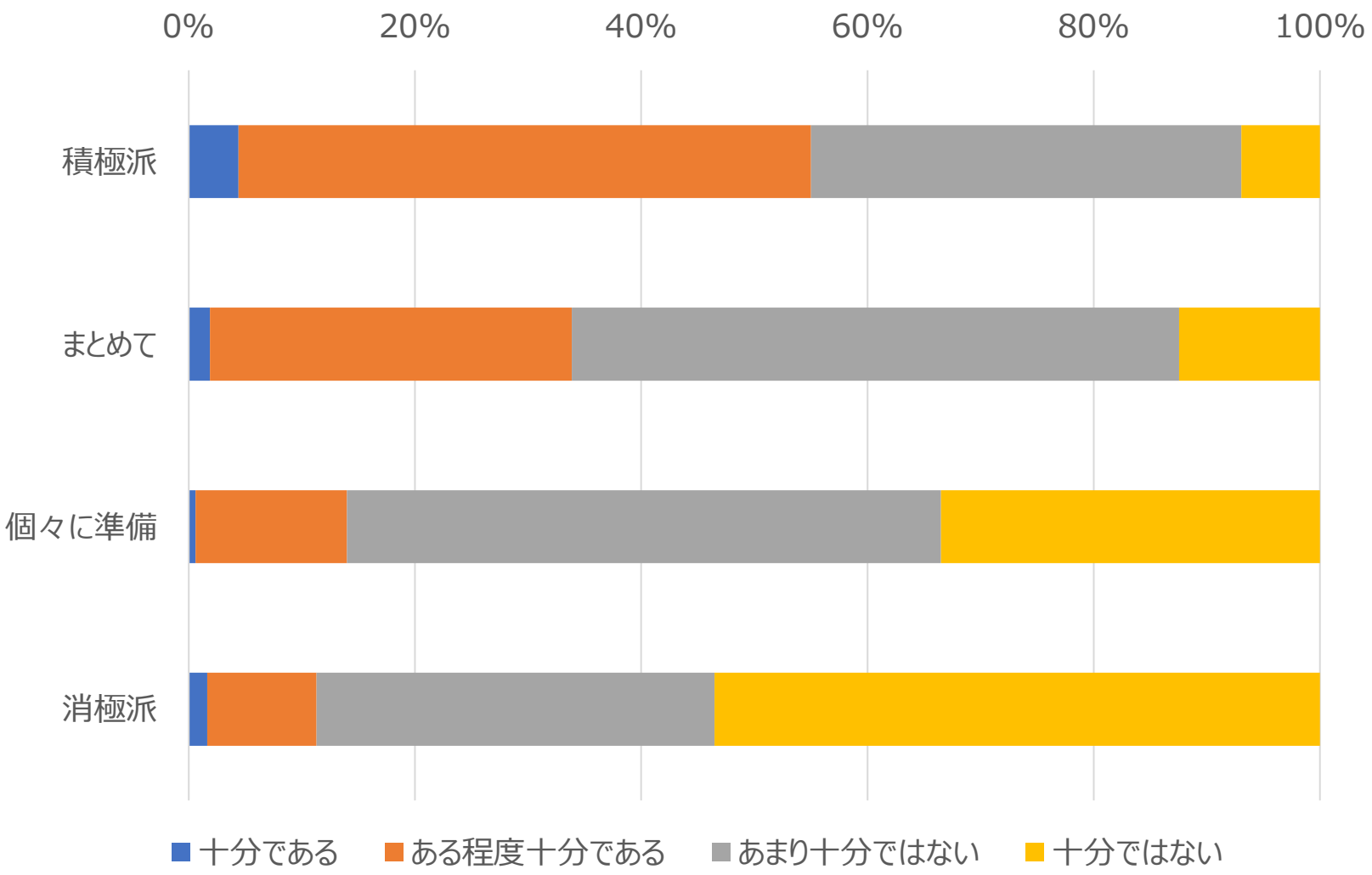
3群（消極、十分）>>==<<2群（積極、不十分）

ICT利活用	多い	1760	
	やや多い	2579	
	やや少ない	2908	
	少ない	1825	
心配性	心配性	2553	
	ある程度	3987	
	あまり	1971	
	全く	561	
テレビ頻度	1日1回以上	6443	
	1日1回未満	1428	
	見ない	1201	
① 性	男	4515	
	女	4557	



1－7.備えクラスタ×認識

相関比＝0.51



1－6.まとめ

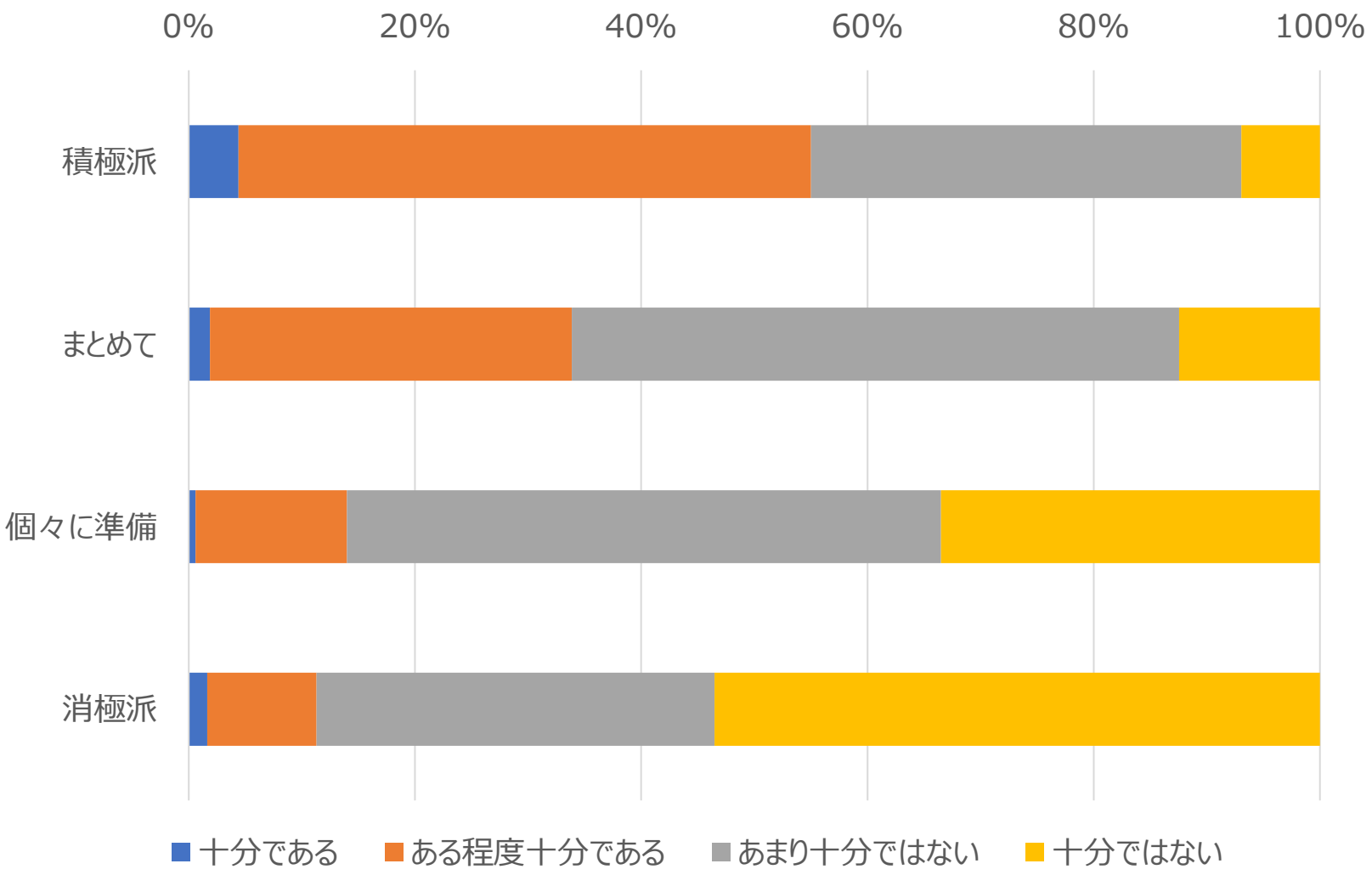
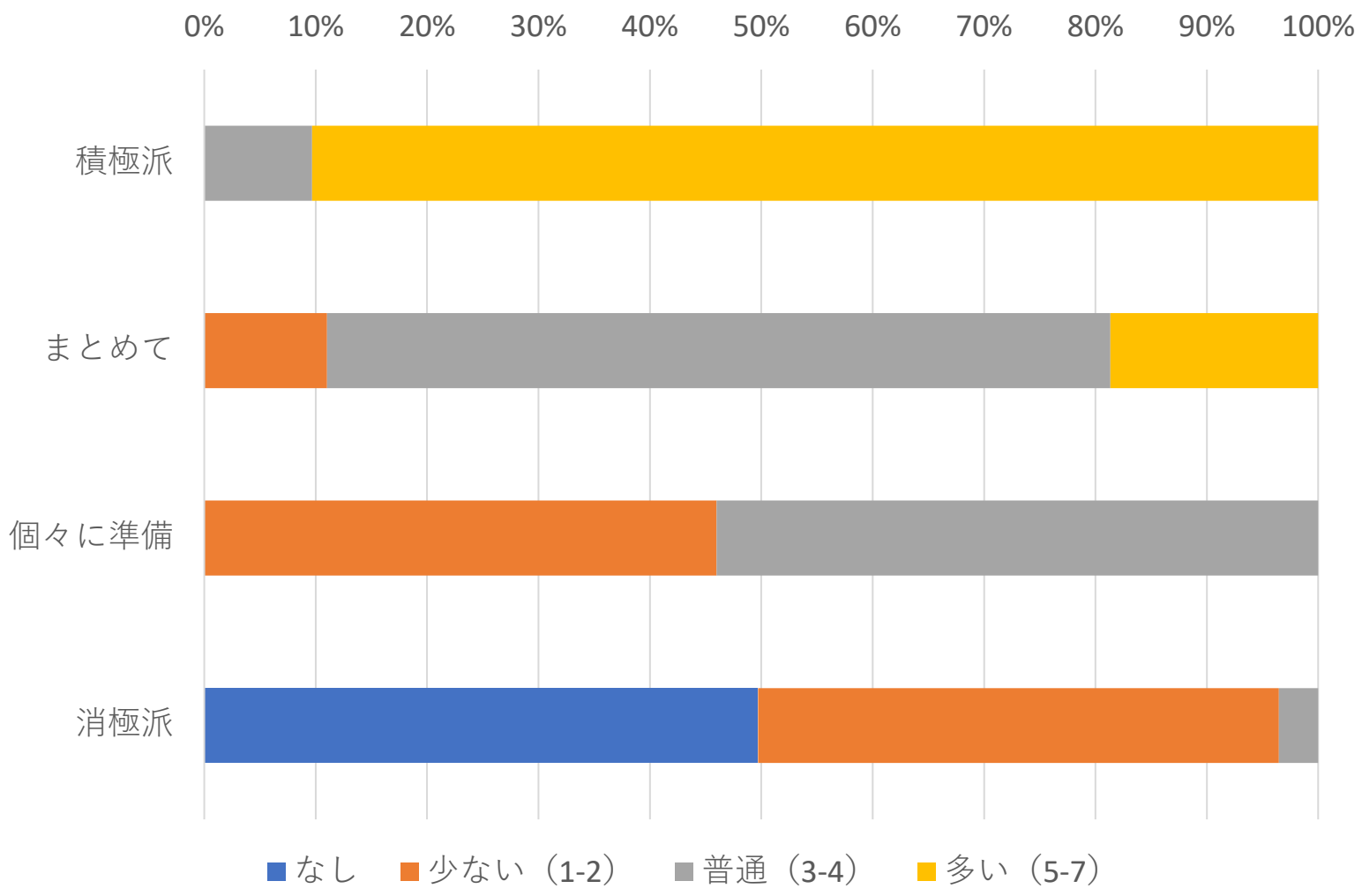
【災害への備え・認識】
一定の相関がみられるが、一致ではない

【消極的対策・認識不十分】
経済的ゆとりがない・気象リテラシーが低い・近所付き合いがない

【積極対策・認識十分と消極的対策・認識不十分】
心理的要素（心配性）との関連は低い

1－7.備えクラスタ×認識

相関比＝0.51



参考　クラスタ×実際の備え